

## 目的・背景

地方への新たな人の流れや関係人口の創出に向けて取り組んでいくためには、人の動きの実情把握と、実施した施策の効果検証が重要です。歩行者数や来訪者数は、経済的指標との一定の相関性が認められており、「まちのにぎわい」を示す重要な要素のひとつであると考えられるため、コストをかけずに、継続的に来訪者数を計測するサービスを提供しています。また、来訪者数は季節や曜日、時間帯によって常に変動するほか、イベントや天候等の様々な要因によって変動するため、オープンデータ等を活用して“まちのにぎわい”の要因や効果分析の支援を行っています。

## 提案概要【観光dataeye】

- AIセンサーから得たデータ（時間帯別・性別年代別の来場者数）をグラフで確認し、関係者で共有できるシェアードデータ（組織内限定も可能）機能、観光情報やイベント情報等のオープンデータを広域マップで公開できるオープンデータ機能を提供します。
- オープンデータカタログサイトからのデータ取得API、外部アプリケーションへのデータ提供APIを装備しています。
- 地域の観光データをオープンデータ登録、広域マップでの公開等のオープンデータ機能は無料です。
- オープンデータ基盤「dataeye」のヘルプデスクで経験豊富なスタッフがサポートします。

## 今後の展望

- 地域ごとの課題に寄り添って、センサー追加・設置場所調整やデータ活用支援に個別に対応するとともに、中国地域における広域オープンデータデータ流通を推進していきます。
- 「住んでよし」「訪れてよし」のサステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）推進、交流人口、関係人口の創出・拡大に向けて、発展的な研究活動にもつなげていく計画です。

## 費用(税別)

標準機器導入費：5万円程度/AIセンサー1台 ※現地調査～工事費別 別途お見積  
 月額利用料金：5千円 ※センサ1台分のクラウド利用料金含む  
 追加月額料金：1千円 / センサー2台目から1台毎 ※クラウドデータは2千円/台



実施主体	一般社団法人データクレイドル
実施場所	大山町
活用技術	AI、オープンデータ、クラウド等
支援事業	応相談
区分	観光・文化
HP掲載年月日	令和7年2月28日

AIカメラ等センサーでデータ取得・転送

クラウドサービスでデータ蓄積・グラフ化

時間帯別・性別年代別の来訪者数推移

ダウンロード・API

オープンデータ等を組み合わせて分析

# 観光dataeyeシステム概要

